特養ホーム
恵徳苑

横須賀中央に増床移転

5月開所、入居者を募る

社会福祉法人恵徳会が運営する特別養護老人ホーム「恵徳苑」が5月に横須賀中央駅近くに増床移転する。市の中心市街地に特別養護老人ホームが建設されるのは初めて。新施設や恵徳会が力を入れて取り組んでいる在宅医療、宅配弁当サービスなどの取り組みを取材した。

8階建ての外観イメージ図、駅から徒歩5分の市街地に立地。

現在東逸見町にある恵徳苑は5月から日の出町に場所を移す。満床状態にあった入居者定員の拡大や1床あたりのスペースを広くすることなどが主な狙い。

新ホームは8階建て。一般的に老人ホームは山間や海辺近辺の立地が多い中、横須賀中央駅から徒歩5分の市街地に開所するのが特徴だ。近隣には諏訪小・常葉中学校やコンビニ、商店、公園などもあり、入居者は人々が行き交う生活感のある中で、日々を過ごすことができる。家族などの面会等にも好都合となる。

2階部分は玄関口の1階から吹き抜けになっており、地域開放ホールとして、入居者や一般の人が自由に活動できる交流の場となっている。地域に住む老若男女が誰でも集え、介護・医療と自然な形で触れ合えることを目指した。すでに小学生から大人まで幅広い年齢層が所属する劇団「横須賀市民ミュージカル」の稽古場利用などが決まっており、絵画の個展や、チャリティーコンサート会場にする計画もある。利用者はこれらの文化に触れることができる。同ホールを活用したい団体などの利用も受け付けている。

3～8階は入居スペースで個室が110部屋。特別養護老人ホームのため、入居金はゼロで月額料金は約6～17万円（要介護3以上が対象）。

また、数日間短期入所できるショートステイの個室も10人分用意している。在宅医療を受けている家庭に対して受け皿の役割を担う。

＊　＊　＊

恵徳苑では増床移転に伴ったオープニングスタッフを募集している。職種は介護職、看護職、調理員（下記に詳細）。

同苑では未経験者も積極採用しており、現在10年以上勤続している人もいる。特にパートは2～3時間からの短い勤務体系にも対応しており、「育児や家事などで時間に制限がある方でも、希望に合わせたシフトを相談しながら組みますので、一度ご連絡ください」と同苑の担当スタッフは話している。

恵徳会理事長インタビュー

人のつながり感じる施設に

特別養護老人ホーム「恵徳苑」を横須賀中央駅近くに増床移転する恵徳会。市の中心市街地に開所する背景や地域交流のホールを設けた意図、法人が目指す「地域に開かれた施設」や理念などについて同法人の理事長を務める中野登喜夫氏に取材した。

中野登喜夫理事長

米国大学会計学修士、音楽家
10年に及ぶ海外での生活や会計士の経験を活かし、既存の概念に捉われず「利用者のための純粋な社会福祉」や地域交流の実践を掲げている

―恵徳苑を市街地の横須賀中央に建設するメリットを教えてください。

「私達は利用者様がいかに楽しく、心豊かに、そして社会とのつながりを感じて過ごせるかを大切にしています。移転場所の近くには学校があり、学生の姿や声を感じることができます。市場や公園もあり、その中で人々のはつらつさや温もりを感じてもらいながら情熱を持って健康・体力維持に取り組んでいただきたいと思いました」。

―施設内に地域交流ホールを設けた意図は。

「一般的に老人ホームというと、関係者しか出入りできない閉鎖的な印象があると思います。だからこそ恵徳会が掲げる『地域に開かれた施設』としてそのような場を設けました」。

―現在、恵徳苑がある逸見地区でも積極的に地域活動に取り組んでいます。

「行政や町内会会長などが集まり、意見交換をする地域運営協議会の理事を務めています。地域の一員として情報を仕入れつつ、法人が貢献できることはないか、そういう視点で参加しています。逸見の一大イベント『接針フェスタ』などの運営にも携わっています」。

―今後、法人として目指すところは。

「中央地区でも町内や地域団体と連携しながら地域活性に寄与できればと思います。医療の分野ではニーズが高まっている訪問診療の事業により力を入れていきます」。

―理事長の社会福祉に対しての想いを伺います。

「私は財務・会計のプロとして数十年間、国内外で仕事をしてきました。その中で自分の企業が財政破綻。約10年、夜勤や肉体労働をして借金を返済しました。その経験から自分の苦しみがわかる人間になれたと思います。その『心』を理事長の『心』とし、地域への支援活動をしながら、利用者様のための純粋な社会福祉に取り組みます。音楽家としても活動しているので、ギター・ピアノ・歌を通じた音楽療法も続けていきます」。

夕食の弁当お届けします

高齢者向けサービス

恵徳苑では買い物や自炊が困難な高齢者などに夕食の宅配弁当サービスを実施している。

弁当は日替わりで管理栄養士が作製したバランスの整ったメニュー。具材の大きさや固さ、味付けなども高齢者を配慮したものとなっている。直接受け渡しに行くので安否確認にもつながっている。

1食600円、月～土曜の希望日に合わせて15：30～配達する。エリアは要相談。

移転に伴い

スタッフを募集しています

介護職

・正職員
月給25万円～（手当含む）
要介護福祉士、年間休日124日

・非常勤
時給1175～1220円（無資格可）

看護職

・正職員
月給27万円～（手当含む）
年間休日124日

・非常勤
時給1900～2000円
（要看護師資格）

調理員

・非常勤
時給1000～1120円（無資格可）

全職とも勤務時間は2時間～可能、シフトも応相談

スタッフの声

「福祉が好きなんだな～と思う人が多い」

「未経験から気づいたら10年以上続けていました」

「2時間でもシフト調整してくれるのがありがたいです」

「制服がスタイリッシュというかおしゃれ」

訪問診療

患者と家族に「在宅の安心を」

医師とケアマネが密に連携

恵徳会では医師が患者宅で医療を行う訪問診療に力を入れている。東逸見町の恵徳苑内に医師とケアマネージャーが常駐しており、両者がきめ細やかな連携を取る充実した支援体制を整えている。通院困難な患者や在宅での看取りを希望する家族、病院退院後の受け皿…とケースは様々。高齢化が進み、訪問診療のニーズが高まる中、在宅医療に取り組む加藤利章医師と、本田順一ケアマネージャーに話を聞いた。

―2人はどのように患者や家族に関わっているのですか。

本田「患者さんのお宅に伺い、前回の訪問時と様子が変わりないか、家族の介護の負担が重すぎないか、会話を通して状態を確認し、加藤医師に伝えています」

加藤「ケアマネのそういった『聞き取り』などの情報を入れながら、1カ月に2回程の定期的な診療や急変時の往診に伺っています」

本田「加藤医師が患者さんの身体のこと、そして私が、家族に介護保険制度の説明などを含めた生活面全般をケアしています。普段は同じ建物内にいるのですぐに情報を共有して動ける。この『医療』と『介護』の連携が密にとれる体制を整えているのは市内でも数少なく、そこが恵徳会の最大の強みだと言えます」

ケアマネ　本田順一さん

医師　加藤利章さん

◀最低でも月2回は患者宅を訪問
夜間休日問わず24時間体制だ

―昨年、横須賀市が在宅看取りで全国トップの数字を出しました。

加藤「恵徳苑でも昨年4月から今年1月までの看取り患者は40人程おり、力を入れています。しかし必ずしも自宅での看取りのみが正解とは限りません。患者や家族の希望などを聞き取り、入院や入所なども含めた様々な選択肢の中の一つとして考えています」

本田「介護は負担が大きく、家族も疲れやすい。辛そうだなと感じた時には恵徳苑にあるショートステイを紹介して負担を軽減したりもしています。皆様が納得できる『最期』の過ごし方を提案させていただいています」

―今後については。

加藤「団塊世代が後期高齢者になる2025年問題も含めて、在宅医療の重要性は増します。現在、病院から退院後の患者についての連絡が多く寄せられていますが、そういった病院や地域も含めた、医療と介護の更なる連携強化は私たちの目指すところです」

本田「訪問診療のニーズはもっと高いはず。知られていない、相談するほどでないと決めつけてしまう人などが多いと感じます。敷居の低いものとして認識してもらいたいです。まずは相談からで良いので連絡を入れていただき、お役に立てればと思います」

社会福祉法人
恵徳会

東逸見町 4-16-70　日の出町 1-9-1 ※5月開所

・居宅介護支援
・通所介護
・訪問診療

・特別養護老人ホーム
・短期入所生活介護

全ての問合せ・申込みは
☎046・823・5132

広告・記事のお問い合わせは☎046・850・1290横須賀編集室へ